

少年、機関車に乗る (1991)

BRATAN

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 タジキスタン／ロシア

色彩 B&W

時間 100分

初公開日 1993/07/17

公開情報 ユーロスペース

【解説】

セピアがかかったモノクロームの映像の中に捉えられる荒野の風景が、かつてない新鮮さで目に映える。そこをゆっくりと横切る機関車。この映画の鉄道の描き方はいずれも、特にその乗物に愛着のない者にすら素敵に憧れをかき立てる。7歳の少年アザマッドは17歳の兄に連れられ無賃乗車の旅をする。家に年老いた祖母を残してまでも、遠く離れた町で愛人との家庭を営む父に会いたかったのだ。機関車はのろのろと、運転士の家のある橋のもとで停まったりしながら進むが、突如、沿道を走るトラックと爆走チェイスを繰り広げたりもする。画面全体から安っぽい感情とは無縁の温かな情感が伝わり、その中央アジアの平原を、観客のまぶたから離れられない光景とするだろう。なぜか土を喰う奇癖を持つ弟（ロシア語で“ブラタン”と呼ばれる）が可愛らしい。

【クレジット】

監督 バフティヤル・フドイナザーロフ Bakhtyar Khudojnazarov

脚本 バフティヤル・フドイナザーロフ Bakhtyar Khudojnazarov

レオニード・マフカーモフ

撮影 ゲオルギー・ザラーエフ Georgi Dzalayev

音楽 アフマド・バカエフ

出演 チムール・トゥルスーノフ

フィルズ・ザブザリエフ

N・タバロフ

R・クルバノフ

N・ベグムロドフ